

日本環境設計株式会社

<https://www.jeplan.co.jp/>

再生ポリエチレン製造事業、携帯電話リサイクル事業、
ジェット燃料製造事業を中心とした、
リサイクル・インフラの構築



日本環境設計

JEPLAN Japan Environment PLANning

会社の特徴、事業概要

日本環境設計の事業は「再生ポリエチレン製造事業」「携帯電話リサイクル事業」「ジェット燃料製造事業」が柱となっている。再生ポリエチレン事業では全国から自社工場に集められた衣料品からポリエチレンを取り出し、独自技術により再生ポリエチレンペレットを製造し、多くのグローバル・アパレルブランドに供給している。携帯電話リサイクル事業では使用済み携帯電話を自社工場で熱分解し、プラスチック部分は再生油へ、残渣は金属資源へと再生が進められている。そして、高尾社長が大阪大学助手時代から取り組んできた技術は、「バイオジェット燃料」という新しい領域へのチャレンジへと発展し、日本環境設計の新しい事業の柱への成長する可能性を秘めるに至った。日本環境設計は、創業以後、リサイクル事業を順調に成長させ、経営を軌道に乗せてきたが、今後も循環型社会の実現に向け、その動きは国内外の注目を集めている。

大阪大学との関係

日本環境設計の代表取締役社長である高尾正樹氏は、大阪大学先端科学イノベーションセンター(当時)の特任助手として、大阪大学産学連携本部兼松泰男教授(現・大阪大学大学院理学研究科教授)の研究室とともに、古着の綿織維の糖化プロセスとバイオエタノールの生産技術に関する研究を行っていた。高尾氏は大阪大学離任後に「リサイクルの促進による、石油を使わない循環型社会の実現」を理念として日本環境設計を創業、創業後も兼松教授の研究室と共同研究を行った。この研究によって得られた知見やノウハウが日本環境設計の主力事業である再生ポリエチレン事業に引き継がれている。



本社所在地

神奈川県川崎市川崎区扇町12-2

代表取締役

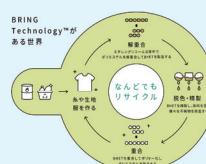
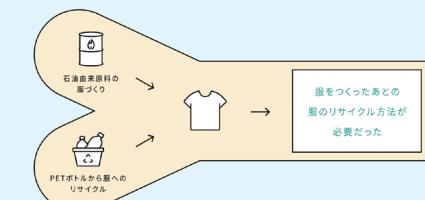
高尾 正樹

設立

2007年1月



これまでの世界



これまでの世界

